

みんなで子育てする社会へ
ともに歩むチームに加わってください

特定非営利活動法人
バディチーム



ご寄付によるご支援

毎月継続のご寄付、企業様における社員様とのマッチング寄付を募集しています。
都度のご寄付も募集しています。

毎月 **10,000 円** のご寄付により

困難な状況にある子どもや親に対して、
訪問や居場所を通じて継続的に関わることで、
孤立感を解消し、親子を支えることができます。



物品その他によるご支援

訪問の現場で使用する調理用品・衛生用品、事務局で使用する事務用品の他、
研修やイベントで使用する会議室など。

▼寄付ページ



寄付者からの応援メッセージ

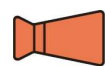
さまざまな理由で子育てが苦しくなったとき、相談できる人がいる事、声をかけてくれる人がいる社会が広がればと
思い、寄付を続けています。いつ、誰が、どんな理由で生活が苦しくなるかわからない世の中ですから、力を寄せ合って
生きていきたいと思います。いつか、私もバディチームさん達に相談する日が来るかもしれません。



交流によるご支援

社内研修・イベント、各種の講演会等へお招きください。
児童虐待の背景やバディチームの取り組み等についてお話しさせていただきます。

虐待をなくすために必要なのは非難ではなく支援であること、
どんな子育て家庭にも起こりうること、
専門家でなくてもできることがあるということ。
1人でも多くの方に知っていただくことが、
「みんなで子育てする社会」につながります。



情報拡散によるご支援

SNS で随時情報を発信しています。
フォローや拡散のご協力をお願いいたします。

Follow us !



特定非営利活動法人
バディチーム

〒162-0822
東京都新宿区下宮比町 2-28-830
TEL : 03-6457-5312
MAIL : honbu@buddy-team.com



家庭訪問型の支援を通じて
みんなで子育てする社会をめざす

バディチームとは

2007 年設立。

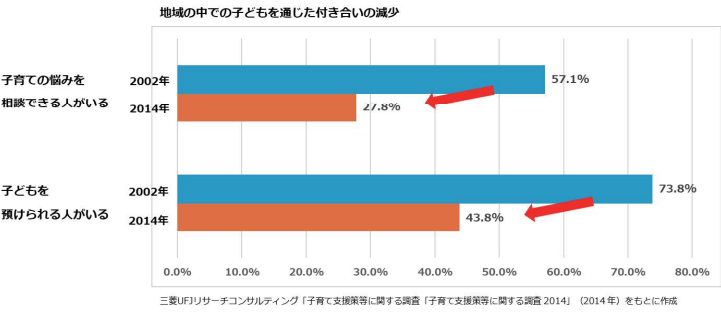
子育て支援・虐待防止・里親家庭支援を目的とした家庭訪問型の支援を行う。さまざまな事情により子育てに
困難を抱える家庭に訪問し、保育、家事、送迎、学習支援などを行いながら親子に寄り添う。

現在、都内13区より子育て世帯訪問支援事業（養育支援訪問事業）を受託するほか、江戸川区の「おうち食堂」
「おとなりさん」事業、世田谷区の「おうち DE ぽかぽかクッキング」事業の運営管理、また都内複数区より里親
家庭むけの育児・家事援助事業を受託実施。

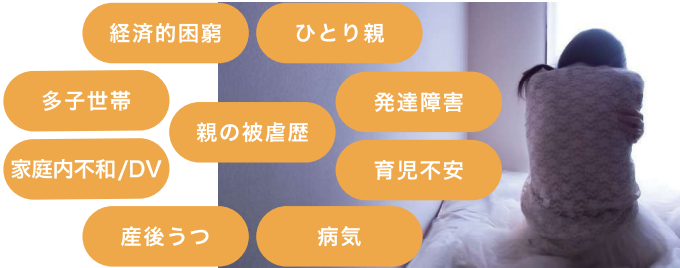
この他、民間機関と連携した「制度の狭間」の家庭に対する訪問型支援事業、および支援拠点「ぼうむ」において
「アウトリーチ連動型 小さな居場所事業」を行う。

虐待は誰も悪くない

それは親個人の責任ではなく、行政や児童相談所だけの責任でもなく、社会全体で取り組むべき課題です。



地縁・血縁・社縁の脆弱化という社会変化の中で、子育て家庭の孤立のリスクは急激に高まっています。



民間だからこそできることがあります

相談窓口での傷付き体験や、公的なものに対する漠然とした不信から、行政に対して拒否的な家庭は少なからず存在します。民間団体だからこそ、そうした家庭にも受け入れられ、支援を届けることができます。

家庭訪問型子育て支援の有効性

孤立の防止

保育・掃除・調理など具体的な支援による負担軽減

こまかな状況確認

信頼関係の構築

訪問家庭数：約 300 家庭／年間

非専門職でもできることがあります

虐待の高リスク層ほど、保護者自身が「普通の」家庭環境を経験していないことが多くあります。そうした家庭に対しては、清潔な部屋・温かい食事・温かい言葉がけといった「普通の」家庭体験を提供することが有効で、それは資格をもった専門職でなくてもできることです。

現場を訪問するスタッフは 20 代～ 70 代、年齢・性別・経験・資格の有無を問わず、それぞれの時間とスキルを持ち寄って、虐待防止の最前線で活躍しています。

登録数：約 200 名

理事長 岡田妙子

虐待は誰も悪くない。それは個人の責任ではなく社会の課題です。誰かを、どこかの機関を責めることを続けていても何も変わりません。児童相談所や自治体、専門職ではないからこそできることがあります。大変な状況にある子どもと親の一番近いところに一緒に居る。できることのお手伝いをする。寄り添い、その歩みを支えていく。私たちと一緒に活動に参加してみませんか。

=B= 制度の狭間の親子に出会い、支えるために

action 民間機関との連携・協働

例えば子ども食堂やフードバンクで「心配な親子」が発見されたとき、運営団体と連携することで、家庭に出向き、支援を届けることができます。必要に応じて行政にもつなげます。

他にも ..
居場所運営団体・医療機関・発達支援機関・里親支援機関など



action 政策提言

制度が十全に行き渡るよう、同業団体とネットワークを形成し、国や自治体に対する政策提言活動を行います。

2023 年 子ども家庭庁担当官を招いてのオンラインイベント

action 調査・研究

よりよい制度提案のため、課題についての調査・研究を行います。

これまでの主な調査

2015 年 里親支援に求められる養育支援とその課題に関する調査研究

2020 年 民間団体における養育支援訪問事業の実態調査と実践モデル作りに関する調査研究

2023 年 家庭訪問型子育て支援事業を行う事業者におけるコーディネーターに対するヒアリング調査

VISION

子どもも大人も誰もが互いに支え合い
みんなで子育てすることで子どもがすこやかに育つ社会